



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

## クエスト「鏡川流域いきもの図鑑をつくろう 2024」開始！体験会を行いました！



スマホアプリ「Biome」の「クエスト」機能を活用し、8月1日(木)から8月31日(土)までの期間、鏡川流域の動植物を調査するイベント「**鏡川流域いきもの図鑑をつくろう 2024**」を開催中！



さっそく8月1日(木)に、クエストの体験会を高知大学で実施！高知大学サークル「**野生生物研究会**」の学生さんと一緒に、高知大学構内で動植物を調査しました！

この体験会は、まちのコイン「**ぼっちり**」を活用し、参加者にぼっちりを付与することで**関わりを可視化**しました！

### クエストへの参加方法は簡単！

「Biome」アプリの「判定」をタップして写真を撮影し、投稿します。



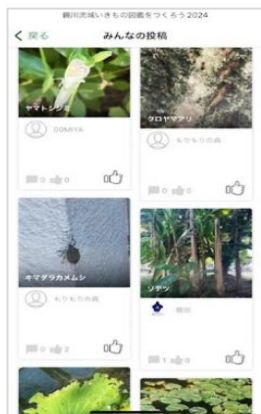
「野生生物研究会」代表の大宮隆行さん(高知大学工学部生物科学科3回生)が、さっそくアブラゼミを見つけて写真を撮影・投稿！



鏡川流域に位置する高知大学で撮影・投稿した写真は、自動的に「鏡川流域いきもの図鑑をつくろう 2024」のクエストに登録されます！



大宮さんに構内を案内してもらいながら、高知市職員も一緒に生き物調査に挑戦！オオジョロウグモやクロイトトンボ、マメヅタなど、次々に動植物を見つけてアプリに投稿していきます！



約1時間かけて実施した今回の調査では、4名で合計**23種**の動植物を図鑑に登録しました！



植込みの花や植物に注目しながら構内を散策！



木に止まったカマキリを見つけました！



調査後に、クエストを多くの人に楽しんでもらうためのアイデアを話し合いました。また、8月下旬には、「野生生物研究会」の学生さんのご協力のもと、クエストを活用した参加型イベントを開催する予定です！



8月7日(水)にも、高知大学付近で学生の皆さんと一緒にクエスト体験会を行います！  
多くの方のご参加をお待ちしています！

「わいわいくら なつやすみ号(特定非営利活動法人NPO 高知市民会議)」でもクエストを紹介していただきました！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android